



ハトダヨ
7月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館
指定管理者 TRC 函館グループ

TEL 35-5500 FAX 35-5525

市中央図書館だより

第3号 平成28年7月1日 発行

貸出・予約ランキング

図書館でたくさん借りられている本・予約が入っている本は何か、みなさんはご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。予約の仕方わからないことがありましたらいつでも図書館員にご相談ください。

貸出ランキング

平成27年12月1日から平成28年5月31日までの間に貸出回数の多かった本をご案内しています。

一般書

1 火花	又吉 直樹／著	6 ペテロの葬列	宮部 みゆき／著
2 ホテルローヤル	桜木 紫乃／著	7 虚ろな十字架	東野 圭吾／著
3 夢幻花	東野 圭吾／著	8 マスカレード・イブ	東野 圭吾／著
4 祈りの幕が下りる時	東野 圭吾／著	9 マスカレード・ホテル	東野 圭吾／著
5 64	横山 秀夫／著	10 村上海賊の娘 上巻	和田 竜／著

児童書

1 バムとケロのおかいもの	島田 ゆか／著	6 かいつソロリのクイズ王	原 ゆたか／著
2 かいつソロリのようかい大うんどうかい	原 ゆたか／著	7 きえた!?かいつソロリ	原 ゆたか／著
3 かいつソロリの だ・だ・だ・だいぼうけん! 前編	原 ゆたか／著	8 かいつソロリイシシ・ノシシ大ピンチ!!	原 ゆたか／著
4 かいつソロリはなよめとソロリじょう	原 ゆたか／著	9 バムとケロのさむいあさ	島田 ゆか／著
5 かいつソロリとなぞのひこうき	原 ゆたか／著	10 かいつソロリの大まじんをさがせ!!	原 ゆたか／著

予約ランキング

平成28年6月2日現在、予約回数の多かった本をご案内しています。

1 羊と鋼の森	宮下 奈都／著	6 天才	石原 慎太郎／著
2 人魚の眠る家	東野 圭吾／著	7 火花	又吉 直樹／著
3 坂の途中の家	角田 光代／著	8 終わった人	内館 牧子／著
4 寮生	今野 敏／著	9 カエルの楽園	百田 尚樹／著
5 ユートピア	湊 かなえ／著	10 擬宝珠のある橋	宇江佐 真理／著

開架展示紹介



「スポーツを楽しもう！」期間：6月25日（土）～7月28日（木）



今年は6月に函館初のフルマラソン、8月には南米大陸初のリオデジャネイロオリンピックが行われます。それに合わせて、アスリート達の自叙伝や競技の入門書・実践本を集めました！スポーツイベントが盛り上がりを見せている今年の夏は、図書館からスポーツを始めませんか？



ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

棚： E イシ
請求記号： 児童 J3

タイトル：「ワニあなぼこほる」

さく：石井 聖岳 出版社：イースト・プレス（2010 年）

ワニが1匹、スコップを持ってやってきた。なにやらあなぼこを掘り始めたぞ！？ガリガリ、ガリガリアなぼこを掘っていると、スコップを持った仲間のワニがやってきて・・・。

どんどん増えていく仲間と一緒にワニは一体なにを作っているのでしょうか？どこか親しみやすいワニの絵が、怖いワニのイメージを変えること間違いなし！テンポよく読める楽しい1冊です。

棚： 閉架書庫 2
請求記号： 914.6 マチ

タイトル：「へらへらぼっちゃん」

著者：町田 康 出版社：講談社（1998 年）

町田康氏をご存知でしょうか。第123回芥川賞を受賞している作家として有名な彼は、作家としてだけでなく、詩人、ミュージシャン、俳優としても有名です。今回私がオススメするのは、そんな彼のエッセイ初作品、その名も、「へらへらぼっちゃん」。この本を読むと、飲んでもいないのに酔っ払った様な気分になってしまいます。意味のわからない部分もあり、独特の語り口調で、へらへらした内容を語っていきます。生真面目に疲れた人には特に勧めたい一冊。自分は真面目じゃないと悩んでいる人、あなたの不真面目なんてまだまだ甘いことがよくわかる本ですよ。不真面目に本気になると奥が深いことを思い知らされる本です。

棚： A19
請求記号： 674.53 ハシ

タイトル：「はじめてでもできる！

手づくりPOP かわいい文字&イラストの描き方」

出版社：ナツメ社（2015 年）

普段、様々な場所で目にする機会があるPOP、興味はあるけど作り方がわからない、そんな疑問に答えてくれるのがこの本です。これ一冊で、かわいい文字・飾りやイラストの描き方、あると便利な道具や図案集といった、POPを作るのに必要な知識を得ることができます。

また、色々なお店のPOP実例ものっていますので、読んで眺めるだけでも楽しめる本になっています。

POPに携わるお仕事をされている方もそうでない方も、ぜひ一度ご覧になってみてください。

館長随想 (三)



図書館において六月十一日、時代小説の作家森真沙子さんの講演会を開催しました。函館育ちの森さんですが、近年は「箱館奉行所始末」シリーズが人気です。森さんが箱館奉行所に興味を持つきっかけになったのは、弱冠二十八歳で箱館奉行に抜擢された小出大和守を知ったからだといえます。この作品に登場する小出は実に魅力的な人物です。主人公支倉幸四郎は、森さんが生み出した架空の人物で、黒澤明の映画「赤ひげ」で保本登役を演じた加山雄三をイメージしたといえます。一寸抜けたところのある支倉と、非の打ちどころのない小出の対象は、この小説を楽しくしてくれます。

作家が作品を生み出すきっかけをお聞きすると、思ってもいない答えがあります。今活躍中の作家朝倉かすみさんに、ヒット作「田村はまだか」の創作について質問すると、朝倉さんが勤めていた頃、通勤の乗換駅であった手稲駅周辺で火事があり、見に行ったそうです。その時、消防士たちが〇〇はまだ来ないのかと口々に叫んでいて、それが「田村はまだか」につながったというのだから驚きです。「田村はまだか」は同窓会で田村を待ち続ける話ですから、火事は関係ありません。朝倉さんには、十月二十九日図書館で講演していただく予定です。

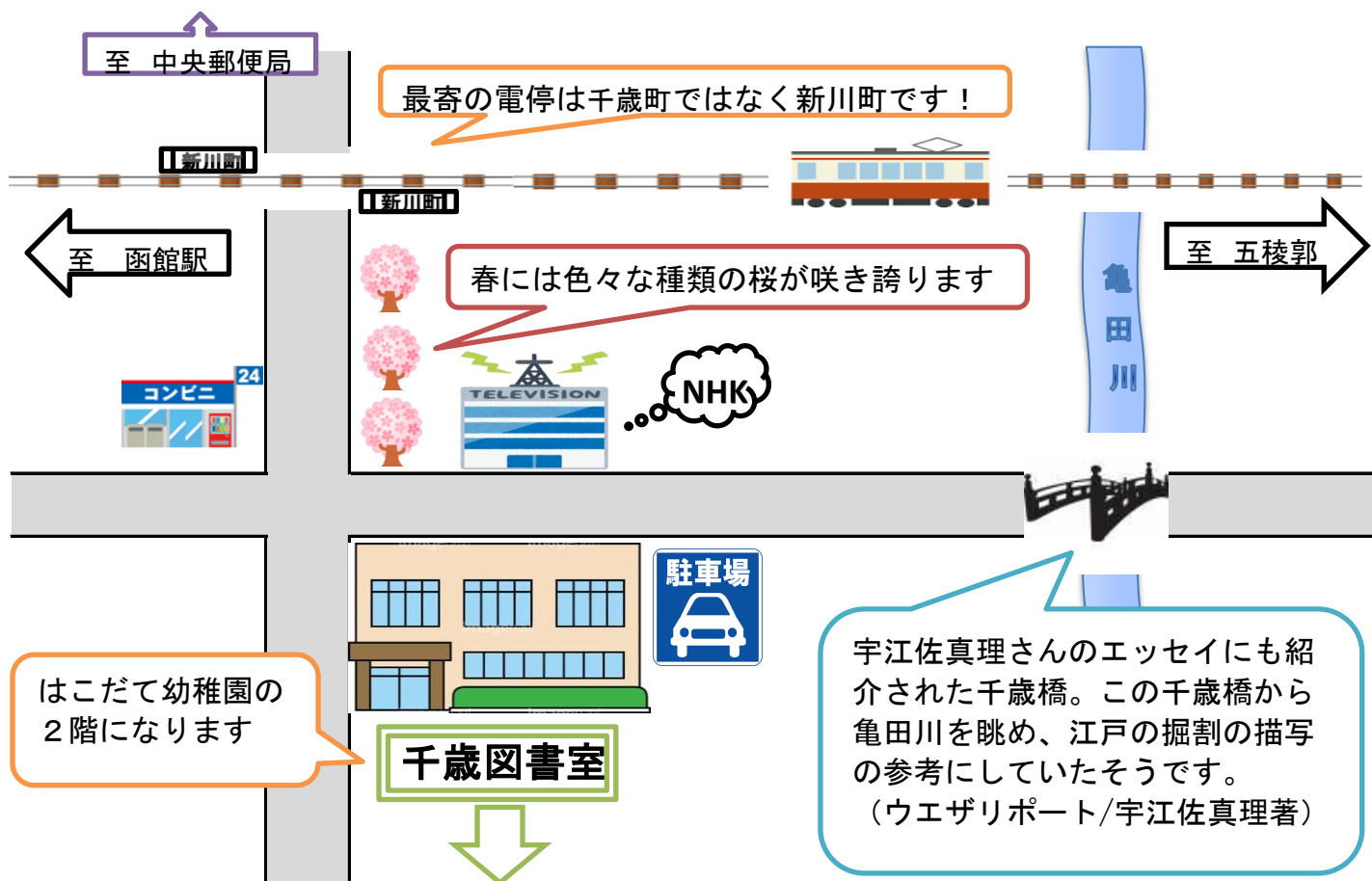
デジタル資料館 紹介

明治時代、函館では全国に先駆けて天然氷の販売を行いました。今回ご紹介する絵葉書に写っているのは、五稜郭の外堀で氷を切り出す人々の様子です。デジタル資料館では拡大することもできますので、ぜひご覧ください。



函館氷の産出 五稜郭外濠の氷切り (pc000671)

ようこそ千歳図書室へ



函館市内にある地区図書室の中では多くの所蔵数を持つ図書室（一般図書約4万冊・児童図書約2万冊）であり、2003年4月からの開館以来13年目を迎え、多くの利用者からご利用いただいております。また、北海道新聞・函館新聞・日本経済新聞の3部の閲覧が可能で、読書席として窓側8席・テラス側14席・児童コーナー11席を完備。閉館時間の17時までゆっくりと読書を楽しむことができます。



図書室内には読み聞かせ室もあり、毎月第1土曜日にはボランティアさんと一緒に絵本の読み聞かせイベントを実施中です。読み聞かせ室はイベント以外にも自由に出入りができ、ご家族又はお友達と一緒に本を読むことができます。